

秋空の有隣荘



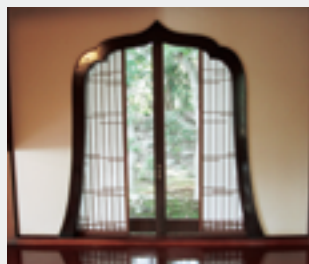
八坂山のふもと、田畑に囲まれた農村地域にひっそりとたたずむ有隣荘（国安 895）は、因幡地方の大庄屋、西尾勘兵衛によって、大正 12 年ごろ建てられたものです。

2000 坪を越える敷地を活かした建物と庭園の配置は、周辺の景色と一体となって見る人を圧倒。国の文化審議会文化財文化会から「国土の歴史的景観に寄与するもの」と高い評価を受けています。

屋敷内では、母屋と離れをつなぐ廊下に用いられているケヤキの一枚板や、離れの一室にある「火灯窓」というデザイン性の高い窓など、見どころが随所にあります。また、「床挿し」という天井の溝が床の間の方に向かう造りは、武家屋敷に必ず用いられていたもの。江戸時代に名字帯刀を許されていた西尾家の名誉が、形となって現在に残っています。

八坂山を借景に作られた庭園も見どころの一つ。季節や天候、時間帯によって様々な表情で訪れる人を迎えてくれます。

※有隣荘については4ページでも紹介しています。



火灯窓

とっとり市報

2012年11月号 第1027号

目次

今月の表紙・人口・主な連絡先	P2
鳥取市を語る 市政への提言 鼓童代表 見留 知弘さん・逢鷲太鼓連代表 石田昇さん	P3
特集 秋景色・薫る歴史	P4-5
特集 将来に備えた財政運営	P6-7
市庁舎整備の取り組みについて	P8
シズ 望見～鳥取市を想う～モンキー・パンチさん	P9
シズ 元気です 貝がら節踊り正調会	P10-11
まちかどアルバム	P12-13
健康・病院	P14-15
ピックアップインフォメーション	P16-19
平成25年4月から施設使用料が変わります	P16
祝日のごみ収集（鳥取地域）	P17
平成25年度 保育園の入園申し込みのお知らせ	P18
市制施行123周年記念式典について	P19
	など
情報ひろば	P20-28
福祉（高齢社会課からのお知らせ、11月は児童虐待防止推進月間ですなど）	P20
お知らせ（第31回鳥取市公民館まつり、谷口シロー原画展Ⅱなど）	P21-
募集（高齢者地域介護・予防協議会委員、湖山池一周シーズンウォークなど）	P24-
市民伝言板	P27
	など
無料相談	P29
各施設のイベント情報	P30-31
食・読者プレゼントなど	P32

PUBLIC INFORMATION

とっとり市報 No.1027

鳥取市の人口

男 : 94,163人 [-55]
 女 : 101,255人 [-15]
 合計 : 195,418人 [-70]
 世帯数 : 77,545 [+ 3]

平成24年10月1日現在 [] 内は前月比

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに設置しております。どうぞご利用ください。

鳥取市役所

TEL 0857-22-8111(代)

FAX 0857-20-3040

〒680-8571

（郵便物は郵便番号と課名のみで届きます）

本庁舎 尚徳町116番地

第二庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.lg.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

（携帯電話対応アドレス）

<http://www.city.tottori.lg.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.lg.jp

各総合支所

国府 TEL 0857-39-0555

福部 TEL 0857-75-2811

河原 TEL 0858-76-3111

用瀬 TEL 0858-87-2111

佐治 TEL 0858-88-0211

気高 TEL 0857-82-0011

鹿野 TEL 0857-84-2011

青谷 TEL 0857-85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

TEL 0857-20-3132

発行／平成24年11月1日

印刷／株式会社鳥取平版社

太鼓で祭を盛り上げよう!

将来は古典芸能と並ぶ分野に

市長 本日は、「鼓童」の見留代表と、逢鷲太鼓連の石田さんに来ていただきました。最初に活動などについて伺います。

見留 私たちの舞台は、太鼓を中心にしており、今年も、芸術監督に歌舞伎俳優の坂東玉三郎さんを迎え、太鼓芸能の新たな世界に踏み込んでいきます。将来は古典芸能と肩を並べられるよう、百年先を見据えて活動をしたいと思えます。

石田 活動を始めて26年たちました。市や県のイベントなどに参加しています。太鼓の活動を通して、若い人たちの出会いにつながり、また、地域のことにも少しも役立ったらいと思っています。

太鼓は体で聴くもの

市長 太鼓の魅力やその効果についてお聞かせください。

見留 太鼓は、人が増えれば増えるほど、音が合えば合うほど楽しいものです。太鼓はとても勇壮でエネルギーが溢れ、元気になれます。

市長 太鼓の魅力は、元気が出ること、とはどの様なことですか。心に響くというのでしょうか。

見留 太鼓は、体でも聴くものなんです。振動が、体の中にしみいり、感動が伝わるんです。

石田 小学校などに和太鼓の魅力を発信しに行くんですけど、感想文に、音が床を伝わって、自分の体にも響いてきました。そういう底知れぬ魅力が和太鼓にはあると思います。

祭をもっと盛り上げて

見留 太鼓はコミュニケーションのツール

だと思っています。昔、太鼓を叩いて聞こえる範囲が一つの村であったといわれています。祭にはエネルギーがありますが、若い人に引き継がないと途絶えてしまいます。祭を大事にして、益々盛り上げていただければよいと思います。

市長 太鼓は祭りであるのがいいというアドバイスをいただきました。祭に太鼓を取り入れて盛り上げていくよう、本市でも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

石田 声がかかれば、すぐにとんでいきますよ。

見留 東北に支援に伺った時、地元の方の「祭

をやってよかった。元気になれたし、みんなに会えた」という話を耳にしました。祭にはそういう力があると思います。

市長 各地にある太鼓の音で元気になる人を増やし、太鼓をする後継者を育てて、ふるさとを大いに元気にしていきたいですね。

※対談内容を抜粋・要約して掲載しています。



- 対談者 太鼓芸能集団「鼓童」代表 見留知弘さん
逢鷲太鼓連代表 石田昇さん
- 場所 鳥取市民会館
- 対談日 平成24年10月3日(水)
- 協力 財団法人鳥取市教育福祉振興会